

Ⅲ 課題別普及活動計画

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
1	農業後継者の育成	就農3年以内の農業後継者への支援 ・課題解決能力の習得 (プロジェクト実施人数0→24人)	北見市 訓子府町 置戸町	新規就農者 研修受講生 (就農3年以内30名)	佐藤係長 飯田専普 會見専普 藤本普指 斉藤普職 山田普職 佐藤普職	R2 ～ R4	本所 地域係
2	○生産基盤強化による持続的な農業の確立	畑作物・園芸作物の安定生産 畑作物の栽培技術向上 適正な輪作へ向けた土壌pH改善の実践(0戸→0戸→1戸) 土壌物理性に応じた排水対策の実践(0戸→3戸→5戸) 経営管理能力の向上 経営分析(生産費集計)の実践(0戸→7戸→7戸) 労働補完システムの検討(0戸→0戸→2戸)	北見市 北見自治区	北見市相内 柏木地区 (7戸)	渡邊係長 近藤専主 飯田専普 戸田専普 藤本普職 葛西次長	R3 ～ R7	本所 第一係
3	経営管理能力の向上	経営分析(生産費集計システム)の定着(実施戸数6戸→6戸)	北見市 北見自治区	北見市大和 地区(旧重点地区) (6戸)	渡邊係長 近藤専主 飯田専普 戸田専普 藤本普指	R3	本所 第一係
4	○生産性の高い持続可能な農業の確立 Part2	ほ場の生産性向上と各作物の安定生産 土壌物理性改善対策の実践と効果検証 カッター施工戸数(4戸→4戸→6戸) カッター施工筆数(7筆→7筆→10筆) 地域の将来を担う若手農業者への支援 個々課題の設定と解決(取組数0個→4個→5個)	北見市 端野自治区	協和地区 (25戸)	風間係長 會見専普 山田普職 佐藤普職 葛西次長	R3 ～ R7	本所 第二係
5	秋まき小麦の安定生産	ゆめちからの栽培管理技術の習得 研修会の参加人数(19名→40名)	北見市 常呂自治区	ゆめちから 作付農業者 (83戸)	會見専普 山田普職 佐藤普職 風間係長	H30 ～ R3	本所 第二係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
6	○若手農業者を核とした地域農業の発展	地域を支える若手農業者の育成 ・自主的学習活動の実践 (自主的課題計画による取り組み農家戸数 2戸→3戸) 粘質土壌における安定生産 ・土壌改良技術の実践 (土壌改良実証ほ設置農家戸数 0戸→2戸)	置戸町	幸岡地区 (5戸)	佐藤係長 木島専主 佐藤専主 斉藤普職 中田主査 葛西次長	R3 ～ R7	本所 第三係
7	畑作農業後継者の栽培管理技術の向上	栽培改善プロジェクト活動の支援 ・プロジェクト活動の理解度 (5段階評価3以上0%→60%)	訓子府町	訓子府町畑作専門部 (45名)	中田主査 木島専主 佐藤専主 斉藤普職 佐藤係長	R3 ～ R4	本所 第三係
8	斜里郡3町和牛女性部の活動支援	飼養管理技術の向上 (成育調査の実施 0戸→3戸以上)	小清水町 清里町 斜里町	斜里郡3町和牛女性部 べこママ会 (37戸)	米田専主 若杉主査	R4	清里支所地域係
9	ジャガイモシストセンチュウ類対抗植物の栽培技術の確立	トマト野生種栽培技術の確立支援 (トマト野生種作付支援農家 28戸→28戸)	斜里町 清里町	でん粉原料ばれいしょ耕作者 (37戸)	若杉主査 高橋支所長 三上係長 清水係長	R3 ～ R4	清里支所地域係
10	○種子用ばれいしょの安定供給を中心とした持続的な地域農業の確立	畑作物栽培技術の向上 ・てん菜の収量向上 ・秋まき小麦の安定生産 (土壌pHの改善実践ほ場数 0筆→9筆→12筆) 持続可能な地域農業システムの構築 ・新規法人の経営の安定化 (効率的な法人運営のための検討会の実施 0回→0回→2回)	清里町	清泉地区 (6戸)	三上係長 米田専主 元木普指 松田専職 横市専職 萬歳普職 藤原普職 若杉主査	R3 ～ R7	清里支所第一係
11	大豆の安定生産技術の確立	新品種「とよまどか」の栽培技術の向上 (改善試験実施農家数 1戸 → 1戸)	小清水町	小清水町豆類耕作部会 (約130名)	藤原普職 萬歳普職 三上係長	R4	清里支所第一係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
12	4Hクラブの活動 支援	青年農業者の資質向上に向けたプロジェクト活動支援 (町内の営農懇談会でのプロジェクト発表回数 0回→1回)	清里町	清里町プライズクラブ (23名)	元木普指 松田専職	R4	清里支 所第一 係
13	○大規模畑作経営 における地域モデル の構築	規模拡大に応じた経営体の 強化 ・共同作業組織の運営ルール 策定(策定数1→3) 大規模経営における畑作物 安定確収技術の確立 ・ばれいしょ新品種栽培技 術の導入 (2戸→3戸) ・豆類適正栽培技術の導入 (0戸→3戸)	斜里町	秋の川地区 (6戸)	清水係長 前野専普 犬塚普指 中坂普職 高橋支所 長	R3 ～ R7	清里支 所第二 係
14	○輪作体系の再構 築による持続可能 な農業経営の確立	新規作物の導入による輪作 体系の確立 大豆栽培技術の向上 (3戸→5戸) 畑作物の安定生産 てんさいの安定生産 (1戸→2戸)	網走市	中園第16地 区(6戸、 1法人)	笹村係長 岩間専普 志鎌専普 岩本普指 伊藤普職 茂木普職 堀野主査 外山支所 長	R3 ～ R7	網走支 所地域 係
15	I C Tの効果的利 用	小麦可変施肥の導入 (2戸→3戸)	網走市	オホーツク 網走第21営 農集団利用 組合(7戸)	笹村係長 岩本普指 伊藤普職 堀野主査	R3 ～ R4	網走支 所地域 係
16	新規就農者実践研 修支援	新規就農者に対する研修支 援・農業経営に関する基礎 知識や技術の習得 (研修受講生(2年生)の平 均習得度5段階で3.5以上 80%)	網走市 大空町東 藻琴	研修受講生 (15名)	岩本普指 志鎌専普 伊藤普職 茂木普職	R3 ～ R7	網走支 所地域 係
17	ジャガイモシスト センチュウ類抵抗 性品種の栽培法確 立	適正な防除方法の推進(実 施戸数31戸→31戸)	網走市 大空町東 藻琴	でん粉原料 用ばれいし ょ耕作者 (31戸)	堀野主査 外山支所 長 笹村係長 岩本普指	R3 ～ R7	網走支 所地域 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
18	生乳生産性の向上	体細胞数の削減 バルク乳の 体細胞数30.4万以下 26→32/36旬(90%以上)	網走市 大空町東 藻琴	酪農家 (4戸)	志鎌専普 笹村係長	R4	網走支 所地域 係
19	○適切な輪作とICT活用による地域農業生産基盤の確立	畑作物の生産 性向上 ・ 土壌診断に基づく適切な 施肥対応の実施 (改善提案実践農家戸 数2戸→3戸) ・ 集落のほ場条件実態に応 じたほ場マップの活用 (改善提案実施農家戸数0 戸→1戸) ○ICT技術の活用推進 ・ 自動操舵による作業の効 率化 (自動操舵実施農家戸数2 戸→3戸)	津別町	恩根地区 (5戸、内 協業法人1 戸、1戸法 人1戸)	林主査 中野専普 田村普指 山本普指 斎藤普職 河田普職 石垣普職 荒木係長 遠藤支所 長	R3 ～ R7	美幌支 所地域 係
20	菜豆(赤系金時) の安定生産	・ 損傷粒対策の推進(実践 事例1戸→2戸)	大空町女 満別	本郷地区 金時作付農 家(34戸)	山田主査 山本普指 斎藤普職	R3 ～ R5	美幌支 所地域 係
21	スマート農業技術 の円滑な推進支援 確立	・ 導入初期課題への解決支 援(ドローン技術導入実践 0戸→1戸)	美幌町	スマート 農業器機 導入生産 者(4戸)	荒木係長 田村普指 石垣普職	R3 ～ R4	美幌支 所地域 係
22	○次代につなぐ地 域農業基盤の確立	労働環境の充実と安定生産 ・ 労働整備実施 (実施戸数2戸→4戸) 法人の充実で効率的な農作 業の展開 ・ 法人運営充実に係る検討 案件数 (実施数3→5件) 地域営農システムの発展 ・ 地域の担い手育成 (整備数3→5課題)	遠軽町	生田原安国 地区 (2法人・ 7戸)	三上係長 芳賀専主 笠井専普 新井普指 吉田普指 高橋専普 近藤普指 小川支所 長	R3 ～ R7	遠軽支 所第一 係
23	地域の活性化支援	社名淵地域の労働補完・シ ステム検討 (システム検討回数 現状3→6回)	遠軽町	社名淵地区 農業者 (1法人、 4戸)	三上係長 芳賀専主 笠井専普 新井専普	R3 ～ R4	遠軽支 所第一 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
24	大豆栽培の安定化 支援	大豆収量の安定化 ・収量性の向上 (収量8%向上 現状 227kg/10a→245kg/10a)	湧別町 遠軽町	JAえんゆう 大豆栽培農 業者(1法 人、10戸)	吉田普職 高橋専普 三上係長	R3	遠軽支 所第一 係
25	秋まき小麦の生産 性向上	秋まき小麦の収量向上 ・勉強会の開催 (勉強会の開催 現状1→3回)	遠軽町	JAえんゆう 遠軽地区農 業者(1法 人、14戸)	高橋専普 三上係長	R4	遠軽支 所第一 係
26	新規就農を目指す 研修生への支援	第3者継承支援 ・農業経営技術の向上 (営農計画樹立 現状0→1戸)	遠軽町	遠軽町 生田原地区 研修生 (3戸)	三上係長 笠井専普 高橋専普 近藤普指	R4 ～ R5	遠軽支 所第一 係
27	信頼される産地の 育成	食品安全・環境保全・労働 安全などの農業の持続可能 性を確保するための生産工 程管理実践支援(GAP認証 の取得 現状3→4戸)	湧別町	上湧別玉葱 振興会 (56戸)	三上係長 吉田普指 高橋専普	R4	遠軽支 所第一 係
28	秋まき小麦縞萎縮 病対策の検討	・縞萎縮病抵抗性系統の検 討 ・耕種的対策の検討 (実証ほの設置0→2カ所)	佐呂間町	J A サロマ 麦作部会	吉田専主 樋口係長	R4	遠軽支 所第二 係
29	○飼養管理改善に よる酪農経営の安 定化	飼養管理技術の向上 (飼養管理の改善3戸→6戸)	湧別町	湧別町川西 第2地区 (8戸)	樋口係長 吉田専主 水野専普 黒坂普職 三浦主査 小川支所 長	R3 ～ R7	遠軽支 所第二 係
30	新規就農者の飼養 管理技術安定化	飼養管理技術の向上 (飼養管理の改善 0戸→2戸)	湧別町	新規就農者 (2戸)	三浦主査 黒坂普職 樋口係長	R4	遠軽支 所第二 係
31	○地域資源の活用 で効率的酪農経営 (畜産クラスター 事業、畜産ICT 事業)	生産性の高い技術の確立 (飼養管理改善実施農家戸 数2戸→3戸) 雇用労働者の作業効率化支 援(作業環境改善実施農家 戸数2戸→3戸)	紋別市	奥東・立牛 地区 (7戸)	坂口係長 宿澤専普 服部専普 切木普職 安沢普職 南義普職 太田支所 長	R3 ～ R7	紋別支 所第一 係
32	新規就農者支援 (農業次世代人材 投資事業)	就農のための技術研修 (新規就農予定者 0組→ 2組)	紋別市 西興部村	新規就農予 定者(2組)	坂口係長 切木普職 南義普職	R3 ～ R4	紋別支 所第一 係
33	女性農業者の活動 支援	滝上若妻会の活性化支援 (活動内容「満足」戸数 0戸→3戸)	滝上町	滝上町酪農 組合の女性 農業者	宿澤専普 服部専普 安沢普職	R4	紋別支 所第一 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
34	TMRセンターの 粗飼料確保支援	植生不良草地への牧草追 播とその後の効果確認（実 施ほ場 0→4）	西興部村	西興部グラ スフィード ファクトリ ー	切木普職 南義普職 坂口係長	R4	紋別支 所第一 係
35	○安定生産を実現 する酪農経営の確 立 (中山間事業、畜産 クラスター関連事 業、草地難防除雑 草駆除対策事業)	飼料管理改善 ・繁殖管理改善実施農 家 戸数 (改善実施農家戸数3戸→ 4戸) サイレージ品質の安定化 ・サイレージ調製および植 生改善実施 (改善実施農家戸数1戸→ 2戸)	雄武町	栄丘地区 (6戸)	大畑係長 石松普職 小沼普職 太田支所 長	R3 ～ R7	紋別支 所第二 係
36	スマート農業の推 進	スマート農業の推進 ・スマート農業の実態調査 (調査戸数0戸→1戸)	雄武町 興部町	雄武町 興部町 農家	大畑係長 石松普指	R3 ～ R7	紋別支 所第二 係
37	新規就農者の技術 習得支援	酪農経営の安定化 ・酪農経営技術の習得 (技術習得農家戸数0戸→ 1戸)	興部町	新規就農者 (2戸)	石松普指 小沼普職	R4 ～ R6	紋別支 所第二 係

2 広域推進事項一覧

業務区分	推 進 事 項 名 (関連事業)	主たる 対象市町村名	普及対象	担当者
担い手	地域農業を担う多様な人材の育成	管内農業者	管内農業者	大畑主査
情報・クリー ン・有機	情報の共有化と情報発信の充実化 持続可能な農業の実践支援	管内農業者	管内農業者	樋口主査
高付加価値化	地域活性化に向けた高付加価値化 の推進	管内農業者	管内農業者	中川主査